

(新旧対照表)

ページ 行	項目	現行	変更案
表紙		<p>新市建設計画</p> <p>「自然」と「やさしさ」と「知恵」を育む、暮らしやすいまち</p> <p>～活力とやすらぎの交流文化都市『那須烏山市』～</p> <p>平成 17 年 2 月 南那須町・烏山町合併協議会</p>	<p>新市建設計画</p> <p>「自然」と「やさしさ」と「知恵」を育む、暮らしやすいまち</p> <p>～活力とやすらぎの交流文化都市『那須烏山市』～</p> <p>平成 17 年 2 月 南那須町・烏山町合併協議会 <u>平成 26 年 12 月変更</u> <u>那須烏山市</u></p>
3 ページ 23 行目	第 1 章 序論 2. 計画の策定方針 (2) 計画の期間	本計画の期間は平成 17 年度から平成 26 年度までの <u>10 ヶ年間</u> とします。	本計画の期間は平成 17 年度から平成 36 年度までの <u>20 年間</u> とします。
36 ページ 4 行目	第 9 章 財政計画	<p>財政計画は、長期的展望に立ち、健全な財政運営を図りながら、新市のまちづくりを計画的に推進するための「新市の財政運営の指針」となるものです。</p> <p>ここでは、合併後の平成 17 年度から平成 26 年度までの <u>10 年間</u>について、歳入、歳出の各項目ごとに過去の実績を基礎として、合併に係る特例措置、経費の増減等を見込み、普通会計ベースで策定しています。</p>	<p>財政計画は、長期的展望に立ち、健全な財政運営を図りながら、新市のまちづくりを計画的に推進するための「新市の財政運営の指針」となるものです。</p> <p>ここでは、合併後の平成 17 年度から平成 36 年度までの <u>20 年間</u>について、歳入、歳出の各項目ごとに過去の実績を基礎として、合併に係る特例措置、経費の増減等を見込み、普通会計ベースで策定しています。</p>
36 ページ 11 行目	第 9 章 財政計画 1. 歳入 (2) 地方譲与税、利子割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金	(2) 地方譲与税、利子割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金	(2) 地方譲与税、 <u>利子割交付金等</u> 、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金
36 ページ 22 行目	第 9 章 財政計画 1. 歳入 (5) 国庫支出金	(5) 国庫支出金 <u>地方財政制度改革の影響により、減少傾向で推移していくものと見込むほか、生活保護費負担分と合併市町村補助金を見込んでいます。</u>	(5) 国庫支出金、 <u>県支出金</u> <u>国・県負担金については、過去の実績を踏まえ扶助費の伸び率を勘案し推計しています。</u> <u>また、国・県補助金については、過去の実績を踏まえ予定されている普通建設事業費をもとに推計しています。</u>

(新旧対照表)

ページ 行	項目	現行	変更案
36 ページ 25 行目	第9章 財政計画 1. 歳入 (6) 県支出金	(6) 県支出金 地方財政制度改革の影響により、減少傾向で推移していくものと見込むほか、 <u>県特別交付金を見込んでいます。</u>	
36 ページ 28 行目	第9章 財政計画 1. 歳入 (7) 財産収入、繰入金、諸収入	(7) 財産収入、繰入金、諸収入	(6) 財産収入、繰入金、諸収入
36 ページ 32 行目	第9章 財政計画 1. 歳入 (8) 地方債	(8) 地方債	(7) 地方債
37 ページ 3 行目	2. 歳出 (1) 人件費	(1) 人件費 <u>合併による特別職等の削減、一般職員退職者の補充抑制による削減を見込んでいます。</u>	(1) 人件費 一般職員退職者の補充抑制による削減を見込んで <u>推計しています。</u>
37 ページ 5 行目	2. 歳出 (2) 扶助費	(2) 扶助費 過去の実績推移を基準に、 <u>将来の高齢者人口伸び率を勘案するとともに、新市における生活保護費分等の増加分を見込んでいます。</u>	(2) 扶助費 過去の実績推移を基準に、 <u>年少及び高齢者人口の伸び率等を勘案し、推計しています。</u>
37 ページ 8 行目	2. 歳出 (3) 公債費	(3) 公債費 <u>平成 16 年度までの地方債に係る償還見込額に、新市における新たな地方債（合併特例債等）に係る償還見込額を見込んでいます。</u>	(3) 公債費 <u>既発行分の償還見込額に加えて、平成 26 年度以降の発行によって生じる償還見込額を勘案し推計しています。</u>
37 ページ 11 行目	2. 歳出 (4) 物件費	(4) 物件費 過去の実績推移を基準に、 <u>合併後のスケールメリットや事務の合理化による抑制を見込んでいます。</u>	(4) 物件費 過去の実績推移を基準に、 <u>行財政改革に伴う削減効果と、新規施設の維持管理費等を見込んで推計しています。</u>
37 ページ 18 行目	2. 歳出 (7) 繰出金	(7) 繰出金 過去の実績推移を基準に、国民健康保険、 <u>老人保健、介護保険分については増額を見込み、その他分は概ね現状程度で推移するものとして推計しています。</u>	(7) 繰出金 過去の実績推移を基準に、国民健康保険、 <u>後期高齢者医療、介護保険分については、被保険者人口の増加による増額を見込み、その他分は概ね現状程度で推移するものとして推計しています。</u>
37 ページ 25 行目	2. 歳出 (10) 投資的経費	(10) 投資的経費 財政運営の健全性確保に配慮し、 <u>新市建設計画に基づく事業費及び経常的な普通建設事業費を見込んでいます。</u>	(10) 投資的経費 財政運営の健全性確保に配慮し、 <u>市総合計画後期基本計画及び公共施設再編整備方針等に基づく事業費及び経常的な普通建設事業費を見込んで推計しています。</u>